

赤羽一丁目第一地区等における市街地再開発事業の計画について

赤羽一丁目第一地区（赤羽一丁目 10 番、11 番の一部）では、権利者の方々により市街地再開発事業準備組合が設立され、事業化に向けた検討が進んでいます。区は現在、駅周辺まちづくりの推進と計画地に隣接する小学校（下図ピンク色）の教育環境の確保・充実等の視点から、準備組合と計画内容等について協議・調整を進めています。今後も事業の進捗に合わせ、本ニュース等でお知らせいたします。

<市街地再開発事業とは>

- ・老朽化した建物を地区内の権利者の方々共同で建替し、あわせて街区や道路を再編整備することで、土地の有効かつ健全な利用を図り、現代に即した防災性や機能、空間を備えた施設とすることで、まちの魅力向上につなげていくための事業です。
- ・赤羽一丁目では「第一地区」が先行し、隣接する「第二地区」（下図青色部分）等でも事業化の検討が進められています。

<第一地区の計画（準備組合案）>

○施設計画

- ・地区面積：約0.5ha ・主な用途：商業、住宅（約340戸）、駐車場等
- ・高さ：約110m ・階数：30階（予定）

○まちづくりへの貢献

- ・敷地内に有効空地約870㎡を確保し、広場状に整備し開放します（市街地再開発事業の仕組みの中で創出される空地です）。
- ・駅周辺の放置自転車対策に寄与するため、一般の方が利用できる機械式地下駐輪場（約150台収容）を敷地内に整備します。

○事業スケジュール

- ・区は令和2年度当初の都市計画決定に向け、関係機関等と調整を進めています。



赤羽駅東口地区

令和元年 12 月

まちづくりニュース

発行：赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会



まちづくりの検討を深めるために、各団体を対象に、グループインタビューを進めています。

赤羽駅東口のまちづくりを検討している協議会では、地区内で計画されている市街地再開発事業（裏面参照）を契機に、今後のまちづくりのあり方について検討を深めています。

その一環として、協議会への参加者だけでなく、より広くみなさんのご意見をお伺いし、目指すべき方向性等の検討に役立てるため、地区内の自治会や商店街、学校PTAを対象に「グループインタビュー」を10月中旬から順次進めています。

グループインタビューの取組みは継続中ですが、地域のみなさんときめ細かく情報を共有するために、これまでの概要をお知らせさせていただきます。

★グループインタビューの概要は本誌の中面をご覧ください。

本当に住みやすい街 昨年の1位に続いて、今年は2位！！

民間の専門金融機関主催の『本当に住みやすい街大賞2020』が去る12月11日に発表され、「赤羽」は昨年のグランプリ（1位）に続き、今年も銀賞（第2位）！を獲得しました。

審査は「発展性」、「住環境」、「交通の利便性」、「コストパフォーマンス」、「教育・文化環境」という基準（最高5.0）で行われ、赤羽は特に「交通の利便性」「発展性」で高い評価を得ています。

「もっと住みやすい街に！」できるよう協議会も引き続き活動していきます。みなさんの積極的な参加もお待ちしております。



（主催者アルヒ株式会社 URL）https://www.aruhi-orp.co.jp/cp/town_ranking/kanto/

◆ 問合せ先：赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会 事務局
 北区まちづくり部まちづくり推進課 ☎ 03-3908-9154（直通）
 東京都北区公式ホームページ（赤羽駅東口地区のまちづくり）
<http://www.city.kita.tokyo.jp/jutaku/toshikekaku/machizukuri-02/index.html>



◆グループインタビュー実施の経緯

本年8月2日(金)に開催した協議会第一回幹事会において、「協議会参加者だけでなく、より広く一般の方々のご意見を伺い、目指すべき方向性に反映していくこと」を目的に、グループインタビューを実施することになりました。

異なる視点、立場から幅広い意見を収集するため、商業関係、自治会、PTAなどの団体ごとにご協力をお願いし、10月19日(土)から適時開催しています。

11月末までに計6回、8組織の団体の方々にお話をお伺いすることができました。

◆実施の概要

各団体の代表者(協議会幹事)の方にお声掛けをお願いし、一団体5～10人程度の規模で自治会や商店街の会館などにお集まりいただき、グループインタビューを実施しました。

当日は机を囲んで座っていただき、お気軽にご意見を出していただく形式をとり、「赤羽のまちに関して気になること」や「赤羽駅東口における拠点づくり」、「再開発事業に関して」、「赤羽小学校に関して」など、活発なご意見をお聞きする場となっています。



開催日	対象団体	開催場所
10月19日(土)	・赤羽スズラン通り商店街復興組合 ・赤羽東口駅前商店会	赤羽スズラン会館
10月23日(水)	・赤羽二丁目自治会	赤羽会館第一集会室
10月23日(水)	・赤羽南自治会	赤羽南自治会
10月28日(月)	・赤羽南一丁目団地自治会	赤羽南一丁目団地集会室
10月28日(月)	・赤羽小学校PTA ・赤羽岩淵中学校PTA	赤羽文化センター
11月26日(火)	・赤羽自治会	ネスト赤羽会議室

◆経過報告

みなさんのご協力のおかげで、様々な角度からの幅広いご意見をいただいています。現時点までにいただいた意見の概要は下記のようなものとなっています。

このようなグループインタビューを引き続き行うことで、さらにより多くの方からの幅広いご意見をいただきたいと考えています。

引き続きご協力をお願いいたします。



～これまでにいただいた意見の概要～

●市街地再開発事業に関して

- ・再開発ビルに期待することの意見としては、駐輪場、公共施設、文化施設、避難場所、家族向けの店などを望む意見が挙がっています。
- ・再開発ビルによる日影や風害、赤羽らしさを出している商店街がなくなることに懸念なども示されています。

●生活環境に関して

- ・(インタビュー開催日の直近に大型台風が上陸したことから)水害時の公的組織の対応、水害をはじめとした災害時に避難できる場所の確保に対する指摘が多く出されました。
- ・赤羽公園を憩いの場として貴重だとする意見や、老朽化等から再整備等を求める意見が多く挙がっています。
- ・店舗の業種の変化や、ごみ出しのマナーなどに関する心配の声もありました。

●今後のまちづくりの方向性に関して

- ・時間的、範囲的に大きな視点に立って考えるべきというご指摘がありました。
- ・共通理解を持って話し合いを進めていくことが大事という意見が挙がっています。
- ・グループインタビューは理解できる人を広めるために良い機会というお声もいただきました。

●赤羽小学校に関して

- ・再開発ビルによる日影等の影響を避けるため、改築時期を迎えている小学校の取扱いについて様々なご意見が挙がっています。
- ・商店街に囲まれた現在の立地について、見守りや防犯等の面からのご意見が挙がっています。

